

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 19 年 11 月 8 日 (2007.11.8)

【公表番号】特表 2007-504324 (P2007-504324A)

【公表日】平成 19 年 3 月 1 日 (2007.3.1)

【年通号数】公開・登録公報 2007-008

【出願番号】特願 2006-525415 (P2006-525415)

【国際特許分類】

C 0 9 J 5/08 (2006.01)

C 0 8 J 9/12 (2006.01)

C 0 9 J 201/00 (2006.01)

C 0 9 J 11/04 (2006.01)

D 2 1 H 27/32 (2006.01)

D 2 1 H 27/00 (2006.01)

【F I】

C 0 9 J 5/08

C 0 8 J 9/12 C E R

C 0 8 J 9/12 C E Z

C 0 9 J 201/00

C 0 9 J 11/04

D 2 1 H 27/32 A

D 2 1 H 27/00 F

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 3 日 (2007.9.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(a) チャンバ内で、衝突する流れの少なくとも一部が混ざり合いながら相互作用し、発泡接着剤を生成するような条件下で、接着剤組成物の 1 以上の流れを、ガスの 1 以上の流れと前記チャンバ内で衝突させ、前記接着剤組成物と前記ガスは、 $6.9 \text{ kPa} \sim 275.8 \text{ kPa}$ の圧力で供給されること、および

(b) 前記チャンバから前記発泡接着剤を分配することを含む発泡接着剤を生成する方法。

【請求項 2】

(a) 接着剤組成物とガスを含む成分をノズルのチャンバに供給すること、

(b) 前記チャンバが混合中に余剰容積を有するような条件下で、少なくとも一部の前記接着剤組成物と前記ガスを、前記チャンバ内で混ざり合いながら相互作用させること、および

(c) 前記チャンバから前記発泡接着剤を分配することを含む発泡接着剤を生成する方法。

【請求項 3】

前記接着剤組成物が、ボレート架橋剤またはホウ素架橋剤、およびこれらの組み合わせから成る群から選択されるミスティング防止剤を含む請求項 1 または 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記チャンバが、前記接着剤組成物の1以上の流れの体積が、発泡が行われる1以上のチャンバの全容積の10%～70%であるような余剰の容積を有する請求項1～3のいずれか一項に記載の方法。

【請求項5】

前記チャンバが、前記チャンバ中に接着剤組成物が導入される少なくとも1つの入口、および前記チャンバから前記発泡接着剤が分配される少なくとも1つの出口を有し、前記少なくとも1つの入口の全開口サイズが、前記少なくとも1つの出口の全開口面積よりも小さい請求項1～4のいずれか一項に記載の方法。

【請求項6】

前記ガスの供給圧力が、前記接着剤組成物の供給圧力と等しいか、より小さい請求項1～5のいずれか一項に記載の方法。

【請求項7】

前記接着剤組成物が、水系であり、および前記接着剤組成物の全重量に基づいて少なくとも50重量%の水を含む請求項1～6のいずれか一項に記載の方法。

【請求項8】

前記発泡接着剤を離散した独立の塊として、前記チャンバから基材上へと分配する請求項1～7のいずれか一項に記載の方法。

【請求項9】

前記発泡接着剤が、トイレットティッシュ、化粧紙、ナプキン用ティッシュおよび紙タオルから成る群から選択されるラミネートを形成するために1以上の層に分配される請求項1～8のいずれか一項に記載の方法。

【請求項10】

(a) 水系接着剤組成物、および

(b) 接着剤を発泡させ、前記発泡接着剤を薄葉紙基材上に塗布することに関する情報を含む説明書を含む接着剤組成物キット。